

みんぱく映画会

みんぱくワールドシネマ

映像に描かれる<包摶と自律>



オフサイド ガールズ

第3回上映会

2010年1月30日[土] 13:30~15:30(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、常設展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定員 450名

整理券は10:00より講堂入口にて配付いたします。

この整理券をご提示いただければ、割引料金で常設展をご覧いただけます。
事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

2006年／イラン映画／ペルシア語、日本語字幕つき／92分

監督／ジャファル・パナヒ

出演／シマ・モバラク・シャヒ サファル・サマンダール シャイヤステ・イラニ

解説 山中由里子(国立民族学博物館民族文化研究部・准教授)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210 (平日9時~17時) <http://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館



みんぱく映画会

みんぱくワールドシネマ

映像に描かれる<包摶と自律>

国立民族学博物館では2009年秋から<包摶と自律の人間学>をテーマに新しい機関研究を開始しました。この機関研究と連動して、テーマにふさわしい映画を選び、研究者による解説付きの上映会「みんぱくワールドシネマ」を始めました。第3回目は、「西アジア展示場」のリニューアルにあわせて、西アジアからイラン映画「オフサイド・ガールズ」を上映します。イラン社会の中で前向きに生きている女の子たちの姿を通して、多様な価値観をもつ国や人々の中で、平和に共生するあり方を皆さんと考えたいと思います。

第3回上映会

2010年1月30日(土) 13:30~15:30(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、常設展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定員 450名 整理券は10:00より講堂入口にて配付いたします。

この整理券をご提示いただければ、割引料金で常設展をご覧いただけます。
事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

「オフサイド・ガールズ」 Offside

2006年/イラン映画/ペルシア語、日本語字幕つき/92分

監督/ジャファル・パナヒ 出演/シマ・モバラク・シャヒ サファル・サマンダール シャイヤステ・イラニ

映画解説

女性に競技場での男性スポーツ観戦が禁じられているイランの国情の中で、首都テヘランで行われた06年のワールドカップ出場がかかる対バーレーン戦に、男装して潜り込むとするサッカーハーフ少女たちの奮闘を活写した快作。本作でベルリン映画祭銀熊賞に輝いたジャファル・パナヒ監督は、師匠のアッバス・キアロスタミ監督譲りか、ドキュメンタリー風の自然な語り口で、試合を直接映さず、大一番に臨む国民の熱狂や前向きな少女たちの息づかいを、くっきりとフィルムに焼きつけた。ラストに流れる、イラン人の抛り所として歌い継がれてきたという『おお、イラン』が、様々な抑圧に屈せず、たくましく生きる彼女たちを鼓舞するように響き、強い余韻を残す。

「イランの女子パワーを侮るべからず」

解説: 山中由里子(国立民族学博物館民族文化研究部・准教授)

イラン・イスラーム共和国には女性を「守る」ために、服装や行動を規制する様々な法律がある。特に、肉体的な運動がともなうスポーツにおいて、男性と女性は隔離されている。例えば海水浴場も、スキーのゲレンデも男女別々が規則。『オフサイドガールズ』に描かれているように、スタジアムでのサッカーハーフ少女たちの奮闘を活写した快作。本作でベルリン映画祭銀熊賞に輝いたジャファル・パナヒ監督は、師匠のアッバス・キアロスタミ監督譲りか、ドキュメンタリー風の自然な語り口で、試合を直接映さず、大一番に臨む国民の熱狂や前向きな少女たちの息づかいを、くっきりとフィルムに焼きつけた。ラストに流れる、イラン人の抛り所として歌い継がれてきたという『おお、イラン』が、様々な抑圧に屈せず、たくましく生きる彼女たちを鼓舞するように響き、強い余韻を残す。



新しくなった西アジア展示

開館30年を機に民博の常設展は変革の時を迎えていました。西アジア展示場も、09年にリニューアルオープンしました。「信仰」、「砂漠の暮らし」、「パレスチナ・ディアスポラ」、「日本人と中東」、「音文化とポップカルチャー」という五つの軸を中心に再構成され、旧展示場でおなじみのあのお宝、収蔵庫に眠っていた珍しい資料、近年収集された真新しい品々が、新しい舞台にお目見えしました。

「包摶と自律の人間学」

グローバル化の進展とともに、日本国内にはすでに200万人以上の外国籍の人びとが居住しています。また、17組に1組が国際結婚をしている時代です。多様な文化的背景をもつ人びとの共生を実現するために、どのような社会を築いていくべきでしょうか。新しい機関研究「包摶と自律の人間学」では、人々の違いを承認=<包摶>し、移民や難民に限らず、無国籍者、障害者、失業者など社会的に弱い立場にある人びとが自分らしさを生かすこと=<自律>のできる公正で平等な社会を実現する方策について考察します。そして、世界各地に視野を広げて、支援の現場を検討してゆきます。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。
「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

*映画会のみ参加される方は、自然文化園を通る場合、入園料が必要となります。ただし、常設展をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園を通せずに来館できます。

●バス

(近鉄バス) (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

(阪急バス) (万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

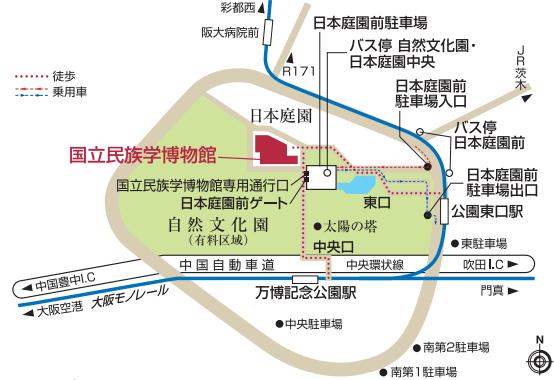
●自動車

駐車施設が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室企画連携係

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

TEL. 06-6878-8210(平日9時~17時)

<http://www.minpaku.ac.jp/>

